

京都大学医学部附属病院の患者を対象とした
口蓋床による顎発育誘導効果に関する研究

【研究の意義・目的】

唇顎口蓋裂の患者さんに対して、哺乳障害の改善と顎発育の促進を目的として口蓋床が使用されています。近年、硬質レジン製の口蓋床が、軟質レジン製に比べ、顎発育誘導効果に優れているとの報告がされていますが、優位性を示す十分な根拠は得られていません。硬質レジン製の口蓋床の優位性を明らかにすることにより、唇顎口蓋裂の患者さんに対する治療を改善することを研究の目的とします。

【対象】

2006年1月1日から2021年8月31日の間に京都大学医学部附属病院歯科口腔外科を受診した唇顎口蓋裂の患者さん。

【方法】

診療記録をデータとして用います。治療に用いた患者さんの口腔の模型から、裂の程度、口蓋の深さや成長の程度、歯列の状態、咬合の状態をデータとして使用します。この研究得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもあります。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。患者さん個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。研究成果は学会、論文、京都大学医学部附属病院歯科口腔外科のホームページ上で公開する予定です。

【個人情報の保護・公開・不参加を希望する場合】

研究への参加を希望されない場合は下記の連絡先に御連絡下さい。

本研究への参加に同意しない場合であっても不利益を受けることはありません。同意はいつでも撤回する事が出来ます。公表後でデータについてはそのまま使用させて頂く事があります。

【利益相反】

本研究の研究資金は、運営費交付金で行われる。

利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

【総研究期間】

研究実施機関の長の許可日から 2025 年 8 月 31 日までを予定

【研究機関名および連絡先】

研究課題ごとの相談窓口：

京都大学大学院医学研究科感覚運動系外科学講座口腔外科学分野

住所：京都市左京区聖護院川原町 54

電話番号：075-751-3729 FAX 番号：075-761-9732

e-mail：t_kato_113@kuhp.kyoto-u.ac.jp

担当者：加藤大貴

研究責任者：別所和久

京都大学の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp